

報告事項 イ

夜間中学の検討状況について（第2回調査研究部会の概要、ニーズ調査結果）

夜間中学の検討状況について、別紙のとおり報告します。

平成31年1月16日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

第2回調査研究部会の概要について

平成31年1月16日
小 中 学 校 課

第2回目の夜間中学等調査研究部会を開催しましたので、その結果を報告します。

1 日程等

- (1) 日 時 平成31年1月7日(月) 午後1時30分～3時30分
(2) 場 所 鳥取県教育センター第1研修室

2 出席者

新井則子委員、岩本由美子委員、松島純子委員、山根俊喜委員、横井司朗委員
小椋博幸委員、藪田邦彦委員、松岡昭長委員

3 概 要

(1) 報告

先進地視察の概要及び「学びの機会確保に向けたシンポジウム」の開催結果、ニーズ調査（アンケート付はがき及び県政参画電子アンケート）の集計結果について、それぞれ報告を行った。

<主な意見>

①先進地視察の概要及び「学びの機会確保に向けたシンポジウム」の開催結果について

- ・尼崎市立成良中学校琴城分校は、生徒の日本語レベルに大きな差がみられるため、日本語レベルに応じて独自に3学級を5学級にして対応している。また、京都市立洛友中学校も同様に、通ってくる生徒に応じて必要な教育内容を幅広く提示している。琴城分校に通っている形式卒業の方は現在2名であるが、今後そういう方も増えていくとなれば、更に学級数を広げる必要が出てくる。すべてのニーズに応えようとする、多くの教員が必要になることが予測できる。
- ・夜間中学は9教科を3年間で学ぶことが大前提となるが、琴城分校では、入学時に面談を行い、「私はこういう状況だから〇年計画で通いたい」など、個々に応じた計画に基づいて原級留置を行う場合もある。ただ、それに見合う教員の配置等の課題も考えられる。
- ・外国籍の方や義務教育未修了の方は学びに対して前向きであるが、不登校を経験した形式卒業の方が学び直しをする場合、気持ちの整理や覚悟が必要だろうと推測している。
- ・教科書は支給されるが、ほとんどが先生方の自作教材で授業が行われているという状況であり、指導する側の指導力も必要となる。

②ニーズ調査（アンケート付はがき及び県政参画電子アンケート）の集計結果について

- ・他府県に比べて丁寧にニーズ調査を行ったつもりであるが、結果において「通ってみたい」が非常に少なかった。県内にどのくらいのニーズがあるのか正確に測れず、判断を求められても非常に厳しい。
- ・他府県でも、なかなかニーズがつかめないようだ。アンケート調査でつかめることには限界があり、これでニーズ調査は終わりということではなく、支援者などのつながりを活用して、もう少し具体的なニーズをつかんでいくことが必要である。
- ・もう一步踏み込んでニーズをつかめる可能性があるのは、不登校生徒と外国籍の方ではないか。個別に関係団体へお願いしてみる方法もある。
- ・以前、鳥取緑風高校と米子白鳳高校に午前部・午後部・夜間部をつくるにあたって、該当の子どもたちへの聞き取りに来られたということがあった。いま支援センターに通っている子どもたちに気持ちを聞くことはできるだろうと思う。また、その子どもたちに家庭以外でも居場所づくりをすることが大切。

(2) 協議

鳥取県における夜間中学等の設置に向けた課題と対応案について説明を行った後、対象者別の対応案や夜間中学を設置するとした場合に想定される課題等について協議を行った。

<主な意見>

- ・財政的に考えて、できるとしても一校であり、そこに集まれるようにするとなると、市町村立ではなく、県立か私立になるのではないかと。対象者は、①「不登校生徒や形式卒業者」と②「外国籍や高齢者の人たち」の大きく二つに分けて考えてはどうか。②については、東部・中部・西部にある定時制高校に中学校夜間学級を併設する形で設置し、①については6年間でいろんなことのやり直しができるような高校も併設した昼間部の夜間中学をつくってはどうか。日本財団と私立との連携も考えられる。また、鳥取方式として、県内の不登校生徒の課題、社会問題の解決の一つの手段として、この夜間中学を使うと考えるかどうか。
- ・引きこもりのように社会参加が難しいタイプの方に対して、学力だけではなく社会に参画する力として、コミュニケーション力の育成も大切。
- ・今は時代が変わってきて、双方向型であれば遠隔授業も授業として認められるようになってきた。文部科学省がどこまで認めるかという問題もあるが、「社会に参画する力と学力もつける」ということなら、ひと月に何回か通学して、後はICTを活用しながら家で勉強できるような形も考えられるのではないかと。
- ・外国籍で、夜間中学に行きたいと考える可能性がある方として、義務教育年齢を越えてしまったために中学校に入れない、でも日本語がわからないので高校に編入することもできない、ちょうど17歳くらいで日本にきた子どもたちにとってはいい場所になるのではないかと。ただ、費用対効果を考えると、そこまでの必要性があるのかどうかは不明。どこが主体となるかはともかく、日本語を学習する場をもっと保障してあげる、頻度を上げて向き合ってあげるという方法のほうが、むしろ夜間中学を設置することより効果的なものかもしれない。
- ・通常の学校の教員が不足している中で、夜間中学をつくるとしたとき、教員の確保という面からも疑問が残る。
- ・実際には、場所や人材・人件費の問題、経費の問題等が現実的な問題としてかかってくる。
- ・学校の設置に向け、ニーズの有無が国への申請に必要となる。対象者本人のニーズ把握は難しいが、いろいろなところでかかわっている方たちに聞き取っていく必要がある。

4 今後の予定

委員から出た意見を参考に、対象者を支援している関係団体等の協力も得ながら、対象者へ直接聞き取るなど、引き続きニーズを把握する取組を実施する。

また、現時点では部会として、夜間中学等設置の有無の判断を行うことは難しく、来年度も継続して検討を行う必要があるという方向性を示すにとどめ、第3回調査研究部会では今年度の調査や議論の結果を中間まとめという形でまとめることとする。

資料 1

アンケート付きはがきによるニーズ調査の結果について

鳥取県教育委員会事務局
小 中 学 校 課

平成30年8月26日から11月20日まで実施したアンケート付きはがきによる「夜間中学等の調査研究に向けた実態把握のためのニーズ調査」の結果を報告します。この調査では、対象者となる方々のニーズを幅広く把握していくために、「学齢超過者、義務教育未修了の外国籍の者、形式卒業者を対象としたアンケート付きはがき」（日本語、中国語、韓国語、英語）と「学校に通えていない学齢生徒を対象としたアンケート付きはがき」の2種類を作成し、県内各所に設置・配布を行いました。

1 すべての対象者への調査結果

①回答数 103通

- 「学齢超過者、義務教育未修了の外国籍の者、形式卒業者」対象用：99通
(日本語版：57通 / 中国語版：21通 / 英語版：21通)
- 「学校に通えていない学齢生徒」対象用：4通

②主な質問項目の結果

○夜間中学を知っているか？	1 知っている	42通	40.7%
	2 知らない	60通	58.3%
	3 未記入	1通	1.0%

○鳥取県に「夜間中学」があったら通ってみたい（通わせてみたい）と思うか？

- ※「学齢超過者、義務教育未修了の外国籍の者、形式卒業者」対象用は、「自身が対象者に該当すると回答した者のみが回答
- ※「学校に通えていない学齢生徒」対象用は、すべての者が回答

1 思う（8通）

- ・10歳代（中部／中国）【③に該当と回答】 ← ②の対象である可能性あり
- ・30歳代（東部／フィリピン）【③に該当と回答】 ← ②の対象である可能性あり
- ・10歳代（東部／日本）【④に該当と回答】
- ・10歳代（東部／フィリピン）【④に該当と回答】 ← ②の対象である可能性あり
- ・60歳代（西部／日本）【④に該当と回答】 ← ①の対象である可能性あり
- ・学校に通えていない学齢生徒の保護者（東部）
- ・学校に通えていない学齢生徒の保護者（西部）
- ・学校に通えていなかった生徒の保護者（中部）

2 思わない（1通）

- ・学校に通えていなかった生徒の保護者（東部）

3 無回答（1通）

- ・40歳代（東部／フィリピン）【③に該当と回答】 ← ②の対象である可能性あり

【参考：夜間中学の対象者】

- ①戦後の混乱期の中で様々な事情により義務教育未修了のまま学齢を超過した方々
- ②本国において義務教育を修了していない外国籍の方々
- ③一度中学校を卒業したが、不登校等の理由により、実質的に十分な教育を受けていない方々
- ④現在、何らかの理由で学校に通えず、十分に学べていない方々

2 学齡超過者、義務教育未修了の外国籍の者、形式卒業者への調査結果（日本語、中国語、韓国語、英語）

①アンケート項目

問1	年齢を教えてください	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上
問2	現在お住いの住所と国籍を教えてください						
問3	夜間中学を知っていますか？	1 知っている	2 知らない				
問4	あなたは、ご自分が夜間中学の対象である①～④に該当すると思いますか？	○該当すると思う【⇒問5へ】					
		○どれにも該当しないが、知り合いに①～④の該当者がいる【⇒問8へ】					
		○どれにも該当しないし、知り合いにも該当者はいない【⇒問8へ】					
問5	あなたは、鳥取県に「夜間中学」があったら通ってみたいと思いますか？	1 思う【⇒問6～8へ】	2 思わない【⇒問7～8へ】				
問6	あなたが、夜間中学に期待することは何ですか？（いくつでも）	○高校入学に向けた学力の習得 ○中学校の卒業資格の取得					
		○読み書きの習得		○特になし		○その他	
問7	あなたが、最後に卒業された学校はどれですか？（中退は卒業に含みません）	○小学校 ○中学校 ○高等学校 ○大学（大学院） ○その他 ○学校へ行ってない					
問8	「夜間中学」に関する御意見や御希望をお書きください。	○必要である ○他の施策を充実させた方がいい					

②回答数 99通（日本語版：57通 / 中国語版：21通 / 英語版：21通）

③結果

問1 年齢

10歳代以上	5通	5.1%	50歳代	20通	20.2%
20歳代	12通	12.1%	60歳代以上	16通	16.2%
30歳代	21通	21.2%	不明（未記入）	2通	2.0%
40歳代	23通	23.2%			

問2 地域別

東部	43	中部	18	西部	34	未記入・県外	4
----	----	----	----	----	----	--------	---

問3 夜間中学を知っているか？

1 知っている	40通	40.4%
2 知らない	58通	58.6%
3 未記入	1通	1.0%

問4 自分が夜間中学の対象に該当するか？

①（学齡超過者）に該当すると思う	0通	0%
②（義務教育未修了の外国籍）に該当すると思う	0通	0%
③（形式的卒業者）に該当すると思う	3通	3.0%
④（学校に通えていない学齡生徒）に該当すると思う	3通	3.0%
どれにも該当しないが、知り合いに①～④の該当者がいる	30通	30.3%
どれにも該当しないし、知り合いにも該当者はいない	63通	63.6%

【参考：「知り合いに該当者がいる」と回答した者の地域別内訳】

東部（19通）、中部（5通）、西部（5通）、住所不明（1通）

問5 鳥取県に「夜間中学」があったら通ってみたいか？【問4で該当すると回答した者のみ】

1 思う（5通）

- ・10歳代（中部／中国）【③に該当と回答】 ← ②の対象である可能性あり
- ・30歳代（東部／フィリピン）【③に該当と回答】 ← ②の対象である可能性あり
- ・10歳代（東部／日本）【④に該当と回答】
- ・10歳代（東部／フィリピン）【④に該当と回答】 ← ②の対象である可能性あり
- ・60歳代（西部／日本）【④に該当と回答】 ← ①の対象である可能性あり

2 思わない（0通）

3 無回答（1通）

- ・40歳代（東部／フィリピン）【③に該当と回答】 ← ②の対象である可能性あり

問6 夜間中学に期待すること（いくつでも）【問4で該当すると回答した者のみ】

高校入学に向けた学力の習得	4
中学校の卒業資格の取得	2
読み書きの習得	5
特にない	0
その他	0

問7 最後に卒業した学校（中退は卒業に含まない）【問4で該当すると回答した者のみ】

- ・10歳代（中部／中国）【③に該当と回答】 → 中学校
- ・30歳代（東部／フィリピン）【③に該当と回答】 → 高等学校
- ・10歳代（東部／日本）【④に該当と回答】 → 小学校
- ・10歳代（東部／フィリピン）【④に該当と回答】 → 中学校
- ・60歳代（西部／日本）【④に該当と回答】 → 大学（大学院）
- ・40歳代（東部／フィリピン）【③に該当と回答】 → 高等学校

問8 「夜間中学」について ※中国語版、英語版は選択肢がないため総数が99にならない。

必要である	45
他の施策を充実させた方がいい	12
未記入	6

問8 「夜間中学」に関する意見や希望

＜夜間中学は必要である＞

- ・教育施設を増やして、夜ならいける人の対応を早急に考えてほしい。鳥取は不登校が多いのに...
- ・S23 生まれですが、戦争の犠牲となった伯父たちの跡を継ぐため、4歳の時に祖母の家にやらされて働き、勉学もままならず、結核を中1の冬から患ったため療養所に入り、また母のところへ転校したため、英語や数学をもう一度、心の空白を埋めるために、できれば履修したい。
- ・通いやすい時間帯は17:25～21:00頃。通いやすい場所は、今の中学校（昼間）の教室。
- ・状況に応じた対応が取ればよいと思います。
- ・様々な理由で昼間に学校へ行けない人の受け皿となっていることは重要なことだ。
- ・鳥取県（東部、中部、西部）での夜間中学の対象①～④の状況及び他県での状況がわかりません。情報が必要と考えます。
- ・不登校やいじめのない学校にしていく。助け合いの気持ちをもたせる。高校に進学するためにも必要だ。交通の便がいいところに設置する。機会は多い方がいい。
- ・NHKのニュースで知りました。夜間中学で学んで、知人（女性）の未来が輝いてほしいです。
- ・誰がつくるのか ➡ 県内に一校あればよいので、県立がよい。市町村には負担が重い。

- ・どこにつくるのか ➡ 米子市がいい。松江市からのニーズにもこたえられる。そうでなければ、鳥取市。県都であるし、中核都市でもあるから。
- ・基礎学力（読み・書き・算）が十分にできないまま社会に送り出され、困っている人が多い。
- ・実態を調査すべき。また、他県の先進的な取組を調査研究した上で取り組むべき。
- ・夜間中学の映画を観て、関心を持っていました。
- ・子どもに絵本を読んでやれない親もいるので、学ぶ場は必要だと思います。
- ・対象に該当しない者でも、もっと勉強したいなどと希望すれば入れるのかと思っていました。
- ・みんなが平等に教育を受けることは大切であると思う。
- ・初めて夜間中学があることを知りました。

<他の施策を充実させた方がいい>

- ・学びに対する思いは様々で、それにすべて対応する学校をつくることは無理だと思う。
- ・各種、学びの場をつくった方がいい。
- ・③・④に該当する人たちは、高校卒業の資格がほしいと願っている。大学に行きたいという生徒もいる。高校の昼間・夜間の定時制や通信制の現状をもとに、「高校卒業」の資格を得られるように検討していただきたい。
- ・若い人にも外国籍の方にも漢字が書けない人は多く、就職に困る場合がある。中学としての時間割を組むことは若い人には有効であるが、家族のいる方にとっては拘束時間が長くなると利用しにくいと考えられる。計算や読み書き、コミュニケーションなど、不得意な分野ごとに自由に選べる方が有効かもしれない。
- ・夜間中学とともに昼間部の午後から通える不登校対象の学校ができてほしい。

<未記入>

- ・周知されていないように思います。
- ・義務教育はいかせるべき（親の義務）。

3 学校に通えていない学齢生徒への調査結果

①アンケート項目

- 問1 お答えになっておられるのはどなたですか？
- お子様本人
 - 保護者の方
 - お子様と保護者の方が相談して
- 問2 現在お住いの住所を教えてください
- 問3 夜間中学を知っていますか？
- 1 知っている 2 知らない
- 問4-1 鳥取県に「夜間中学」があったら通ってみたい（通わせてみたい）と思いますか？
- 1 思う【 ➡ 問5へ】
 - 2 思わない【 ➡ 問4-2へ】
 - 3 通いたいに通えないと思う【 ➡ 問4-2へ】
 - 4 通わせたいに通えないと思う【 ➡ 問4-2へ】
 - 5 その他
- 問4-2 それはなぜですか？【問4-1で2・3・4と回答された方】
- 問5 あなたが、夜間中学に期待することは何ですか？（いくつでも）
- 高校入学に向けた学力の習得 中学校の卒業資格の取得
 - 読み書きの習得 特にない
 - その他
- 問6 「夜間中学」に関する御意見や御希望をお書きください。

②回答数 4通

③結果

問1	回答者	本人	<u>0通</u>
		保護者	<u>3通</u>
		本人と保護者	<u>1通</u>

問2 市町村 (4通)

東部	<u>2</u>	中部	<u>1</u>	西部	<u>1</u>
----	----------	----	----------	----	----------

問3 夜間中学を知っているか？

1 知っている	<u>2通</u>
2 知らない	<u>2通</u>

問4-1 鳥取県に「夜間中学」があったら通ってみたい (通わせてみたい) と思うか？

1 思う	<u>3通</u>
2 思わない	<u>1通</u>
3 通いたいに通えないと思う	<u>0通</u>
4 通わせたいに通えないと思う	<u>0通</u>
5 その他	<u>0通</u>

問4-2 それはなぜか？【問4-1 で2・3・4と回答された者のみ】

- ・現在通っている高校で、中学校の学習内容を自習する時間があり、ある程度中学校の学習を補足できていると思うので、改めて夜間中学に通う必要は感じていない

問5 夜間中学に期待すること (いくつでも)

高校入学に向けた学力の習得	<u>3</u>
中学校の卒業資格の取得	<u>2</u>
読み書きの習得	<u>2</u>
特になし	<u>0</u>
その他	<u>2</u>

- ・不登校の子の居場所
- ・交流の場
- ・次への一歩となる場所
- ・学ぶ楽しさを感じられる場
- ・コミュニケーションを学ぶ場

問6 「夜間中学」に関する意見や希望

- ・夜間ではなく、午後の枠で学習できる方が学齢期の子どもには適しているように思う。不登校 (傾向) の子どもが通える場として選択肢が増えるのは期待したい。(東部)
- ・東部、中部、西部に1校ずつ最低限あってほしい。駅からスクールバスが出ていると通いやすいのではないかと思う。17:30頃~21:30の時間帯。(東部)
- ・息子は中学時代不登校でした。当時、親として一番心配していたことは、学力の定着でした。塾は高額になるし、生活リズムも崩れていたため、夜間だと行けた気がします。(中部)

資料 2

県政参画電子アンケートによるニーズ調査の結果について

鳥取県教育委員会事務局
小 中 学 校 課

平成30年11月1日から12日まで実施した県政参画電子アンケートによる結果を報告します。

1 調査概要

- テーマ 夜間中学
- 対象 県政参画電子アンケート会員 1018名
- 回答数 806件 (回答率 79%)

2 調査結果

【問1】あなたは、夜間中学を知っていますか。

- | | |
|--------------|------------|
| 1 知っている【問2へ】 | 326人 40.4% |
| 2 知らない【問3へ】 | 474人 58.8% |

【問2】あなたは、「夜間中学」をどこで知りましたか。(複数選択可)

- | | |
|---------------------|------------|
| 1 県教育委員会のホームページ | 19人 2.4% |
| 2 文部科学省のホームページ | 14人 1.7% |
| 3 現在実施中の夜間中学のニーズ調査 | 9人 1.1% |
| 4 学びの機会確保に向けたシンポジウム | 2人 0.2% |
| 5 新聞 | 101人 12.5% |
| 6 テレビ・ラジオ | 226人 28% |
| 7 映画 | 62人 7.7% |
| 8 SNS | 5人 0.6% |
| 9 その他 | 39人 4.8% |

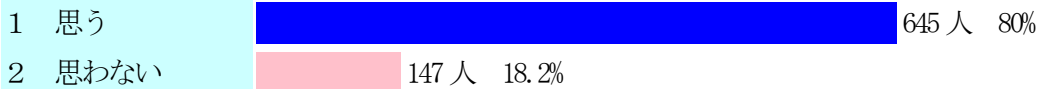
<その他(主な意見を抜粋)>

- ・インターネット上か、テレビかで授業の場の映像を含めた様子を見かけた記憶がある。
- ・かなり前から当たり前知っています。
- ・解放学習会で学んだ。
- ・学校の授業での先生の話や家族との会話
- ・元文科省次官の講演会で
- ・実際に県外で教えていた(手伝いをしていた)
- ・実際に見たことがある
- ・職場の研修会
- ・昔から耳に知っていて知っているが、鳥取県に無いのは知らなかった

<資料> 夜間中学は、次の（１）～（４）の方々を対象としています

- （１）戦後の混乱期の中で様々な事情により義務教育未修了のまま学齢を超過した方々
- （２）本国において義務教育を修了していない外国籍の方々
- （３）一度中学校を卒業したが、不登校等の理由により、実質的に十分な教育を受けていない方々
- （４）現在、何らかの理由で学校に通えず、十分に学べていない方々

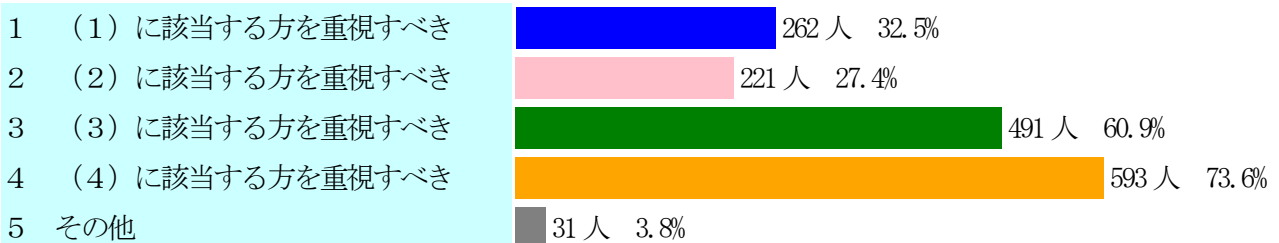
【問３】あなたは、鳥取県に「夜間中学」があったら通いたい、または身近に対象となる方がいたら通わせたいと思いますか。



<思わない理由（主な意見を抜粋）>

- ・1から4の事情の方すべてに十分な対応ができるのか、疑問だから。
- ・対象となる方がおられたとしても、なかなかそういう話題をすることは難しい。
- ・学びの方法が多様化しており、インターネットでも学ぶことができる。
- ・今まで身近にいなかったもので、よく分かりません。
- ・自分だったら、高校か専門的な学校を探すと思う。
- ・昼間、働かなければならない状態なら夜間中学はありだと思う。
- ・夜間に外出することの危険性（変質者との遭遇、交通事故等）を考えると夜間にわざわざ通わせたくない。夜間中学のような制度で昼に通うような学校があればいいと思う。
- ・夜間中学が他の県にあるからといった理由で設置を考えておられるならば流される必要はないと思います。教員不足の現状を考えるともっと教員が必要となり負担が生じてくるのではないのでしょうか。今は新たな施設設置よりも教員不足や負担軽減の策を講じた方が良くはないのでしょうか。夜間の学校に通学するとなると鳥取は交通の便も不便なので通うのにも大変だと思います。
- ・夜間中学じゃなくても、定時高校で、夜間があるからそこで学べると思う。

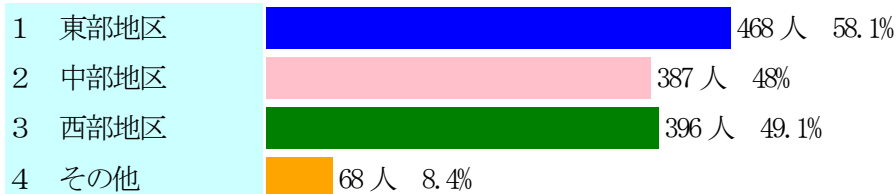
【問４】もし鳥取県に「夜間中学」を作るとしたら、対象者（１）～（４）のうち、どの対象者を重視した「夜間中学」を作らべきだと思いますか。（複数選択可）



<その他（主な意見を抜粋）>

- ・どの対象者もみな平等に重視されるべきだとは思いますが、一番立場の弱い若い人(中学生の年齢の子や未成年など)が通いやすいようにしてあげるのが一番ではないかと思う。
- ・過去において何らかの理由により中学校を卒業していない方に限定すべきである。
- ・原則としてはすべての人を対象にした公教育であるべきです。ただ「重視」という視点から言えば、特に資料（２）に該当する外国籍への配慮を希望します。世界、アジアを見据えたこれからの日本の針路を考えると、日本海側に位置する当県としては重要なことだと思います。
- ・障がいがあることを理由に、就学免除・猶予を余儀なくされ、義務教育を受けることができなかった障がいのある方や、聴覚障がいがあるため、手話等の手段で十分に教育を受けることができなかった方々
- ・鳥取県には必要がありません。

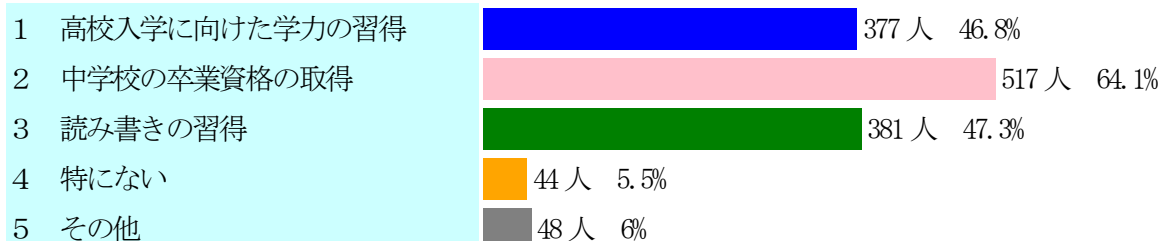
【問5】もし鳥取県に「夜間中学」を作るとしたら、どこに作ってほしいですか。(複数選択可)



<その他(主な意見を抜粋)>

- ・それぞれ自宅から近い所に欲しいと思われるでしょうが、複数箇所設置は経費もかかると思います。ニーズがより多いエリアに試験的に建てるのが好ましいと思います。
- ・仮に二カ所の設置が限度なら、鳥取市で中部よりに一ヶ所と、米子市で中部寄りに一ヶ所。
- ・基本的に東西部からも通える中部が良いと思います。しかし通う以外の選択肢として人によっては通信教育でも良い場合もあるかと思えます。
- ・中学校校区ごと。仕事おわりに駆けつけられる。自転車で行ける。
- ・夜間に中学校課程履修を目指すのであれば相当頻度で通わないといけないはず。鳥取県を3つに分け、各場所に設置しても頻繁には通えないと思う
- ・義務教育といえど、費用対効果の考えは必要。教師の件費、設備費、光熱水料などの必要経費をある程度勘案すべき。
- ・新しい施設を作るのではなくて、既存の施設を利用すべき。例えば、夜間の大学の講義室は自由に使えるのではないかと思う。
- ・地域によっては何処に設置しても通学できない。
- ・地区を選択するということは、遠距離通学ということが考えられる。目的が達成できるか疑問。
- ・夜間中学が必要だと思わない。

【問6】あなたが、夜間中学に期待することは何ですか。(複数選択可)



<その他(主な意見を抜粋)>

- ・1つのことをやり遂げる根気や忍耐力をつけ自分に自信をつけてほしい。
- ・一般教養としての知識。一般的な常識やマナー、モラルの認知。中学卒業レベルの学力の習得。
- ・学ぶ機会の確保。いろんな世代間の交流。社会性を身につける。
- ・学校生活の中で、人のためにとか、人の気持ちを思いやるとか、自分の心の表現とか、心の充実も学ぶことも必要ではないかと思えます。
- ・学習だけでなく、将来どうなりたいか。そして、それに向けてどう対策をしていけば良いのか具体的に話し合え実行に移せること。就労に向けたきっかけ、道筋が作れること。
- ・基礎的なコミュニケーション能力の獲得(あいさつができる、はい、いいえ以外の返事ができる等)
- ・通う人に寄り添った関わり合い、指導をして欲しい。特に未成年は夜間中学に通う事にコンプレックスを抱く人も居ると思うので、当然の権利だということを認めてあげて欲しい。
- ・日本人としての人間形成
- ・夜間中学のニーズがあるのか何なのか私にはわからない。私の子供も中学校に行けなかった。代りに支援センターのような所に通い同世代の付き合いや勉強を教えてもらったので、昼はいけない人のためにあればいいと思うが、対象が広すぎるといけないような気もするし。何を求めているかによると思う。

【問7】夜間中学についてご意見をお聞かせください。（複数選択可）

1 鳥取県に夜間中学は必要である	577人	71.6%
2 鳥取県に夜間中学は必要ない	118人	14.6%
3 他の施策を充実させた方がいい	136人	16.9%

<他の施策の具体（主な意見を抜粋）>

- ・今の小中学校を少人数にして、そちらの先生方を増やしてほしい。
- ・この施策に経費を投入するより、他の学校教育に関する経費を投入した方が、費用対効果の面からも良いように思う。例えば学校にクーラー等を設置するなど。
- ・さまざまな理由で通えない方には必要だと思いますが、もし出来たとして はたしてどれほどの方が通うのか…とか、高齢の方だと そもそも その場所まで通えるのか…とか思います。
- ・なんらかの理由で中学に通えないというのなら、わざわざ夜間中学にする必要はない。今あるものからサービスを提供する方がコスト的に良いと思う。
- ・引きこもりやその他生きづらさを抱えている人たちに、夜間中学という枠だけに留めず包括的な援助が必要だと思う
- ・外国人の日本教育、読み書き、マナーなど。
- ・現実問題として県内に一校程度しかできないのであれば、県内交通事情から夜間の移動は車になり、免許を持つ人間を対象とすると不登校児童は受け入れられないと安易に推測できる。夜間高校の窓口を広げるのが現実的に思える。
- ・人口的に費用対効果が低いと思われるため
- ・充実させないといけないことは、他にもたくさんあると思う。
- ・不登校やひきこもりの人が行きやすい場所。支援センターやフリースクール、ピアサポート、ハートフルスペースなど。中学に行きたいけれど行けない人たちへの情報が県としてまとめられていないように思います。当事者の立場となって、どのような既存の施設があるのか、選択肢を提示し、検討しやすい情報を提供してもらいたいです。
- ・問3と重なるが、夜間中学のみが手段とは思えない
- ・夜間に通えない人、距離的に困難な人などハードルが高い。学校そのものをつくるのではなく、近隣の学校の空き部屋や市庁舎、図書館を利用して類似条件のグループ化でプログラムを組んで対応するのはどうでしょうか。

【問8】夜間中学にご意見、ご希望があればご記入ください。

- ・高齢化のため定期的に通うのが困難な方々が多いのではないかと。
- ・1校しか作らないのであれば中部に置かなければ県内全域から通うのは困難。しかし、一番学びを欲しているイメージのある(1)の方々の年代を考えると、近隣でなければ通うことは出来ない。また、(4)の理由の方は夜間であっても通えない場合が多いのでは？中学生という年代を考えても夜間外出も望ましくないし、生活面でも夜間ではなく日中に学習できるようサポートした方がよいと思う。
- ・この様（夜間中学）な教育のあり方があることを初めて知りました。中学校を通じて保護者から意見を聞き、ニーズを把握した上で検討して頂きたいと思います。
- ・何かしらの理由で通えない義務教育世代の者が通うことを想定して、公共交通機関で通える場所にあることと、22時までには終わるスケジュールで設定するのが望ましいと感じる。
- ・子どもの通っている中学校にも不登校で通っていない子がいる。他の子がいない夜なら通ってくれるのではないかと期待ももてる。部活などが終わる時間を考えれば20時頃からの開始が適切かと思う。
- ・夜間中学だが、県内でも外国人の方が増えているので日本語教育を公的機関がもっとすべきだと思う。基本的な生活知識という面で外国人の方の需要があるのではないかとと思う。
- ・夜間中学に通学する人の目的は多様（日本語の習得、中学校卒業資格の取得、学びそのものをやり直したい等）。通学しやすい時間帯、場所への配慮は当然。
- ・いじめなどで中学校へ行けなくなった子が社会へでるきっかけになるハードルの低い通いやすい場所。

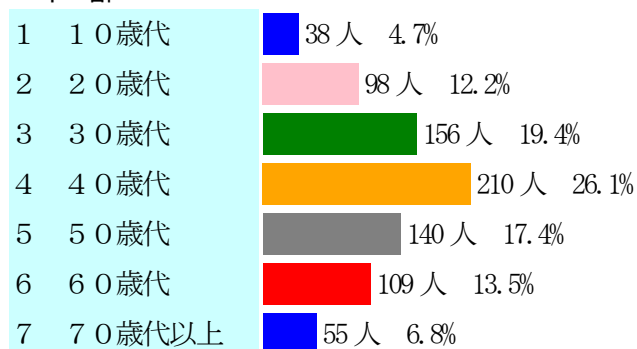
- ・白鳳高校や緑風高校に中学も併設すると良い。中高一貫校もおかしくない時代。
- ・できればあったほうが良いと思うが、人材の確保が難しいのではないかな。
- ・一般中学校でもそうだが、より一層熱意ある先生が求められると思う。先生方にその必要性と可能性を勉強してもらいたい。
- ・夜間中学を必要として、教員はどうするのが知りたい。そのまま現役の中学教員がやるのか、新たに夜間中学向けの教員を募るのか。
- ・開設に当たっては経費節減に留意すること。（教室は現存の公立学校を利用するとか、講師は退職教師に委嘱するとか、など）
- ・公共交通の便の悪い県で、だれがどうやって通えるのかと考えると、広域的には現状難しく、箱モノの夜間中学を作るのはいかなものか。インターネットで学べるほうが良い。
- ・市、町単位でないと実際の通学は難しいと思います。
- ・多くの予算をかけずに実施してほしい。
- ・人口減少が進む中で、平均的に教育レベルを上げなければならないことは理解できる。しかし、公費をかける以上、どの部分にお金をかけたらいちばん県民の利益につながるのか考えていただきたい。
- ・セイフティーネットのひとつとしてあって良いと思う。
- ・ほんとうに必要な人の意見・考え方を考慮した取組にしてほしい。
- ・義務教育ですので、本来ならば一定の知識を身につけ卒業できたはずなのですが、様々な環境要因により不幸にして叶わなかった人達はいらっしゃると思います。それらの方達の中には、切に学びの機会を得たいと考えておられる人も少なく無いと思います。そんな人達に可能な限りのチャンスを用意することは非常に重要なことだと思います。
- ・現在、66歳になって、今まで英語、儒学、商学、剣術などの習得が不足しているように思っ、勉強しようと個人的に考えます。夜間中学の対象、要望、悩みなど書籍を調べてみたいと思います。そのような、情報発信をできるだけ検討してください。
- ・米子市でNPO法人西部ろうあ仲間サロン会には多くの高齢聴覚障がい者が集まり、取り組みをしていますが、「学びたい」意欲が大変強く、通年の取り組みの半分は教養講座です。対象者全てと言ってもいいくらい、手話での教育を禁止されていた世代で、十分な教育を受けることができていません。そのような方々への学ぶ権利の保障も重要だと日々感じています。ぜひ、気にとめていただきたいです。
- ・生涯学習の一環としてフリースクール施策を充実させ、フリースクールのシステムの中に中学資格コースというようなものを置き、早朝から日中に通えるとよいと思う。

【属性】

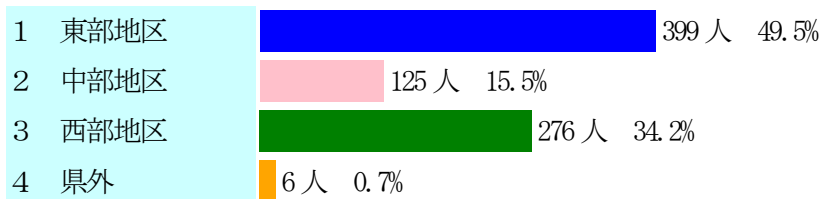
性別



年齢



地区別



市町村

